

令和5年度 北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

1 調査期間 令和6年1月10日から令和6年1月31日まで

2 調査方法 郵送・WEB調査併用

3 調査対象と回収結果

対象者	配布数	有効回収数	有効回収率
① 就学前児童の保護者	5,000	2,314	46.3%
② 就学前児童の保護者	3,000	1,515	50.5%
③ 小学生の保護者	3,000	1,391	46.4%
④ 中学・高校生の保護者	3,000	1,181	39.4%
⑤ 中学・高校生本人	3,000	1,117	37.2%
⑥ 18歳から39歳の男女	3,000	914	30.5%
計	20,000	8,432	42.2%

4 調査の目的及び内容

■調査票①

子ども・子育て支援法第61条第1項の規定に基づき、国の指定する項目について、「北九州市子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、市民ニーズを把握する。

《調査項目》子どもと家族の状況について、幼児教育・保育施設の利用状況について など

■調査票②～④

令和7年度からの「次期こどもプラン(次期市町村こども計画)」の策定のため、北九州市の子育て家庭の現状やニーズを把握する。

《調査項目》子どもと家族の状況について、子育て支援事業の利用状況について など

■調査票⑤

中学生、高校生自身の意見を聴き、子ども自身のニーズや率直な思いを把握する。

《調査項目》子ども自身の居場所について、悩み事について など

■調査票⑥

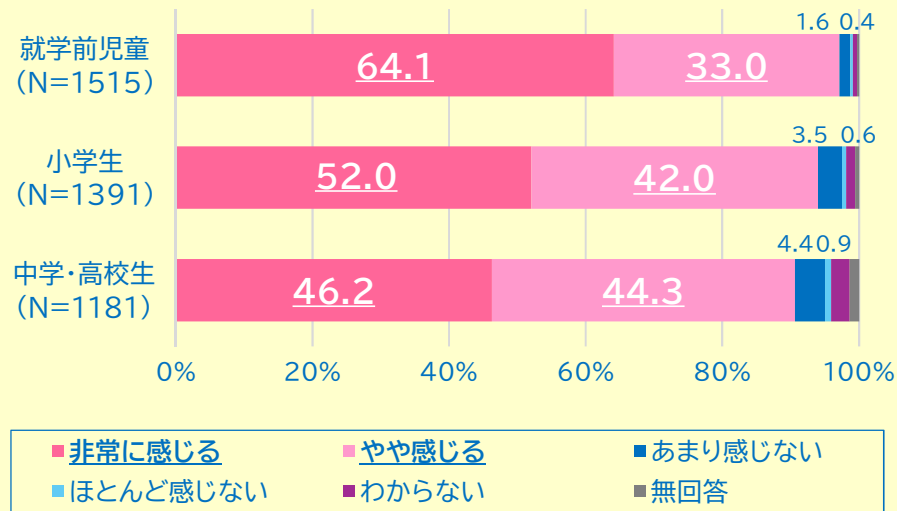
若者の生活や就労状況、結婚に関する意識について把握する。

《調査項目》生活・就労状況について、結婚・家庭、出産・子育てへの意識 など

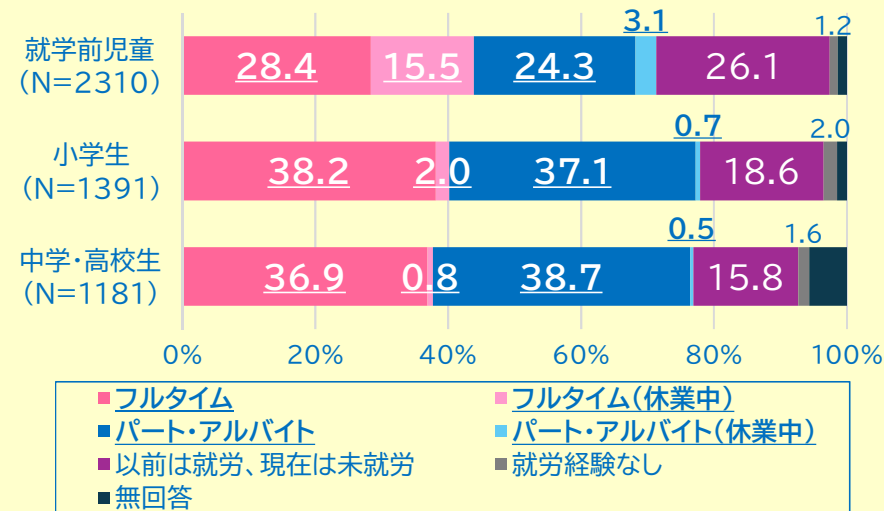
5 主な調査結果 別紙のとおり

R5年度 子ども・子育て支援に関する市民アンケートの主な結果【回答:保護者】

■子育ての楽しさ



■母親の就労状況

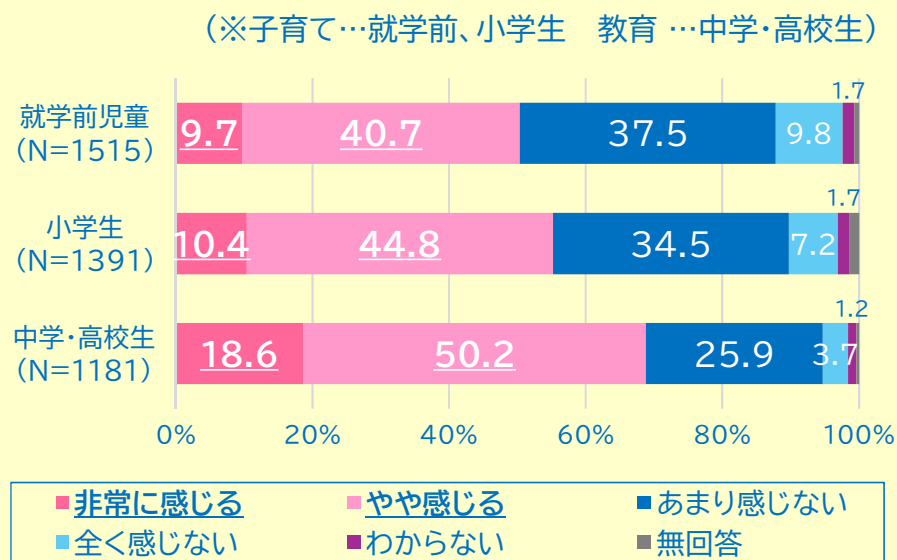


■子育て情報の入手先（上位5位）

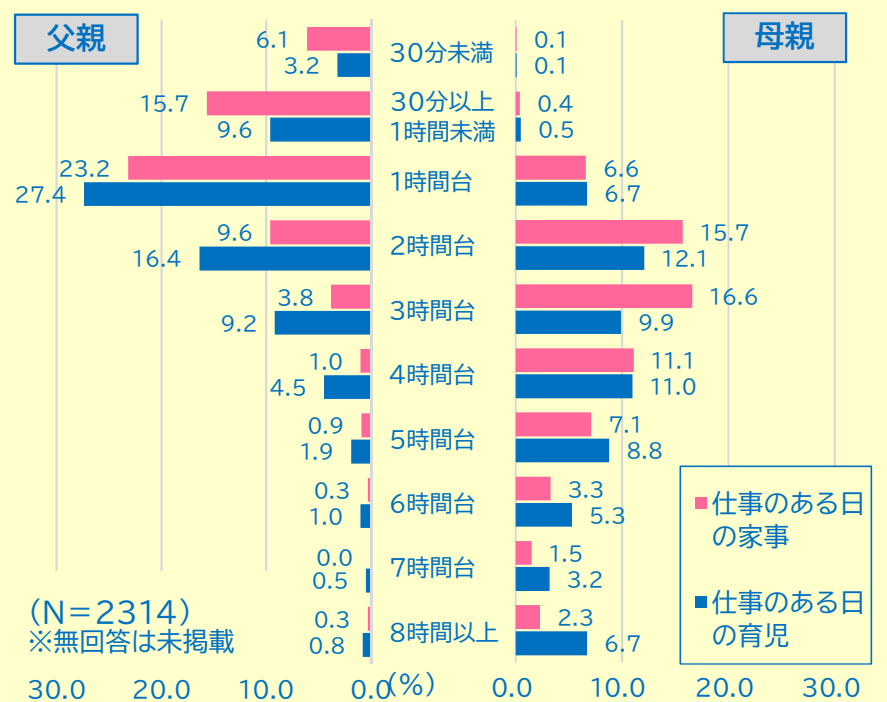
(複数回答)

	就業前 (N=1515)		小学生 (N=1391)		中学・高校生 (N=1181)	
1	親族や友人知人	75.1 %	親族や友人知人	72.7 %	親族や友人知人	76.9 %
2	保育所、幼稚園など	52.3 %	学校	53.5 %	学校	48.6 %
3	SNS	50.2 %	インターネット(HP)	26.7 %	インターネット(HP)	32.6 %
4	インターネット(HP)	25.1 %	SNS	22.0 %	テレビ・ラジオ	18.7 %
5	テレビ・ラジオ	10.6 %	市の発行物(市政だより等)	19.1 %	市の発行物(市政だより等)	16.8 %

■子育て・教育への悩みや不安



■共育て(家事・育児)の状況【就学前児童】



■市により力を入れてほしい子育て支援策

(上位5位)

(複数回答)

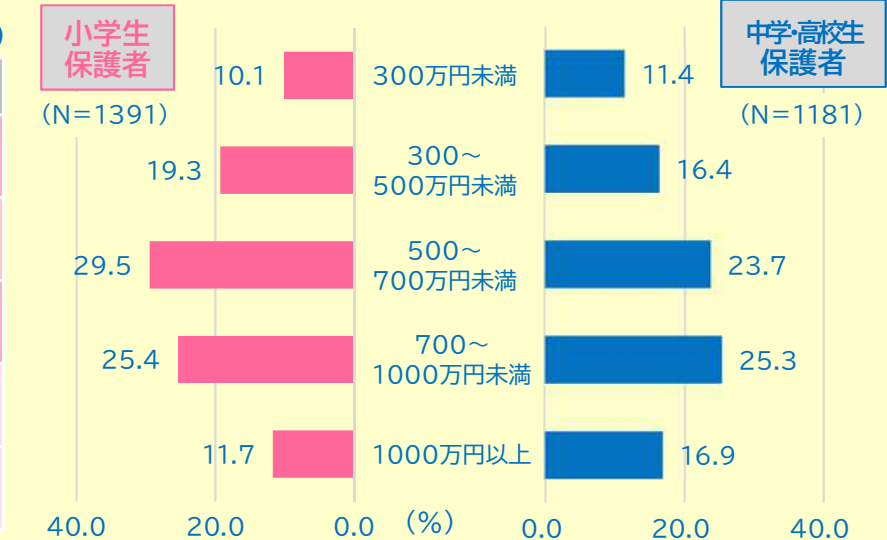
	就業前 (N=1515)		小学生 (N=1391)		中学・高校生 (N=1181)	
1	経済的支援	55.8%	安全安心な公園や施設	43.8%	経済的支援	49.7%
2	子育てと仕事を両立できる職場環境	46.1%	救急医療をはじめとする医療体制	42.7%	救急医療をはじめとする医療体制	38.9%
3	安心して妊娠・出産・子育てできる医療体制	36.7%	経済的支援	41.9%	子育てと仕事を両立できる職場環境	37.3%
4	利用しやすい公園や子育て支援施設	34.0%	子育てと仕事を両立できる職場環境	28.5%	安全安心な公園や施設	28.0%
5	入所しやすい多様なニーズに対応した保育所等	31.7%	学校以外での学習支援	19.5%	学校以外での学習支援	24.0%

■子育ての悩みや気になること（上位5位）

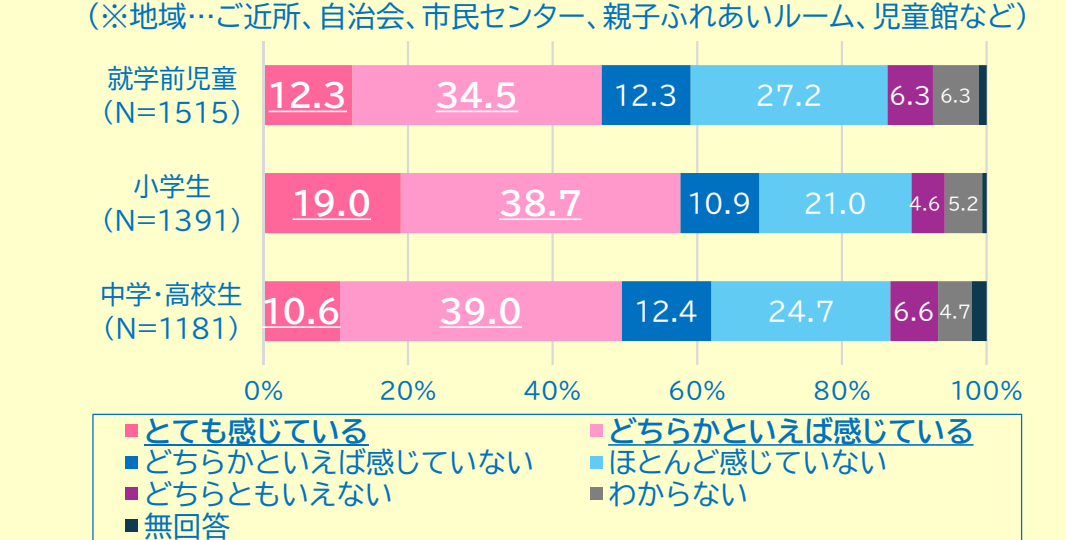
(複数回答)

	就業前 (N=1515)		小学生 (N=1391)		中学・高校生 (N=1181)	
1	食事や栄養	36.6%	教育	36.4%	卒業後の進路	48.1%
2	病気、発育発達	35.0%	病気、発育発達	27.1%	経済的負担	46.7%
3	叱りすぎているか	27.6%	叱りすぎているか	25.7%	学業(成績等)	45.8%
4	経済的負担	26.2%	経済的負担	25.3%	将来の就職	43.9%
5	教育	24.6%	友達づきあい(いじめ含む)	21.9%	基本的生活習慣	22.8%

■世帯全体の年収



■子育てに対する地域の支えの感じ方

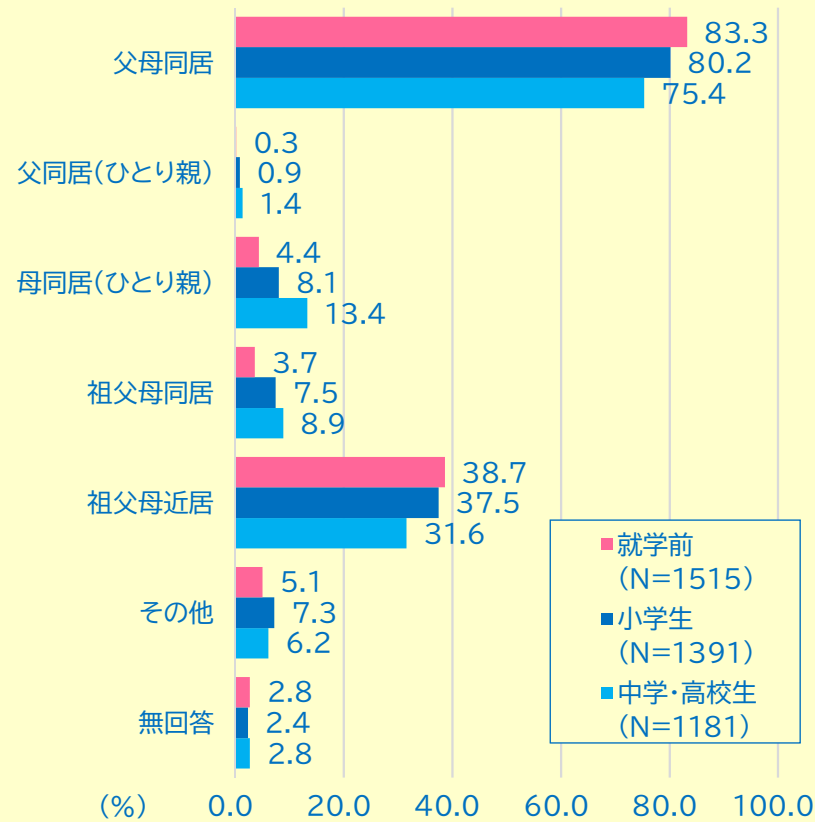


R5年度 子ども・子育て支援に関する市民アンケートの主な結果【回答:保護者】

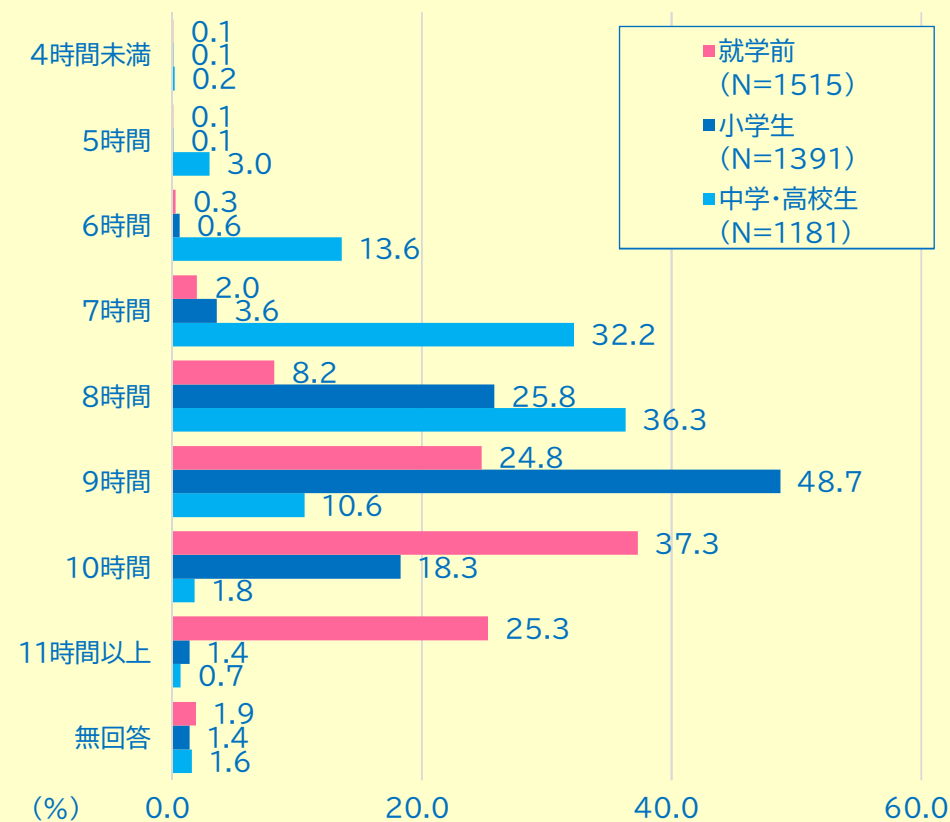
こどもの生活状況

同居の状況

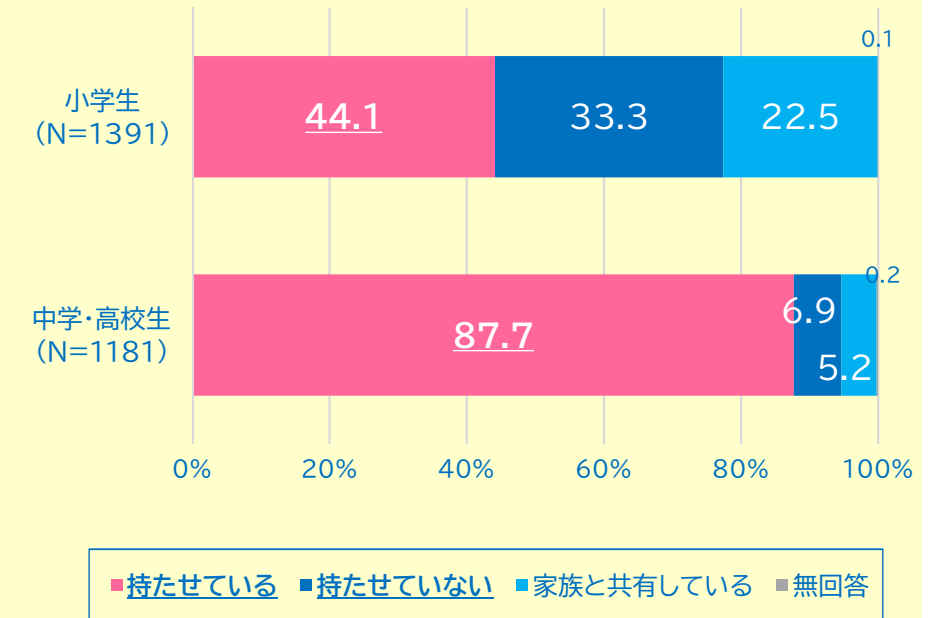
(複数回答)



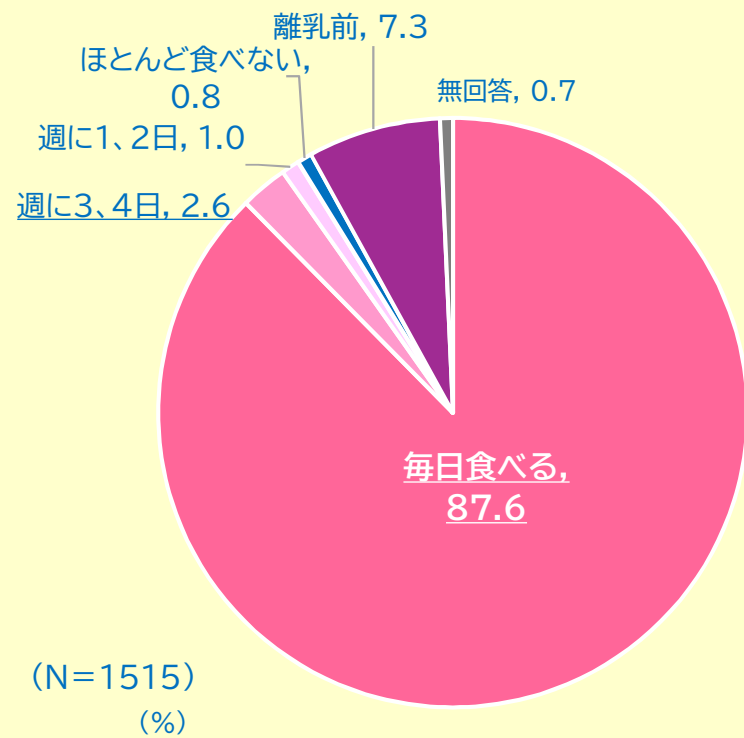
こどもの平均睡眠時間



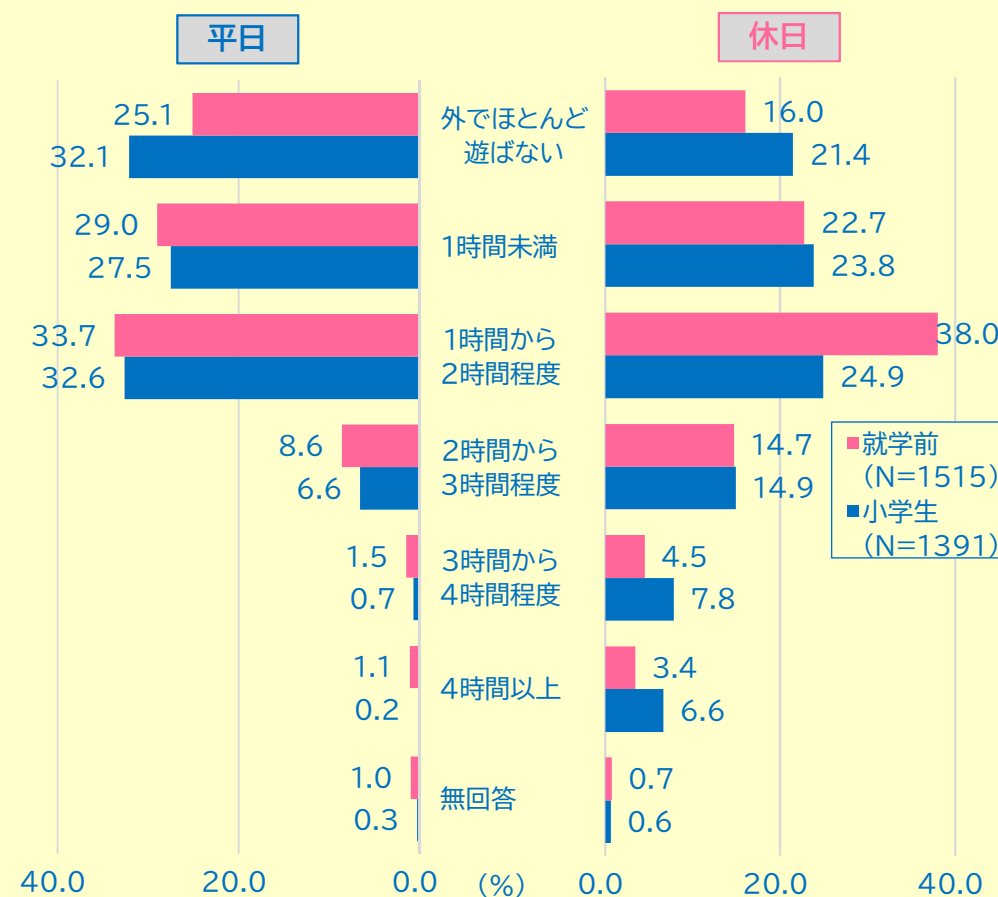
こどもの携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器の所有状況



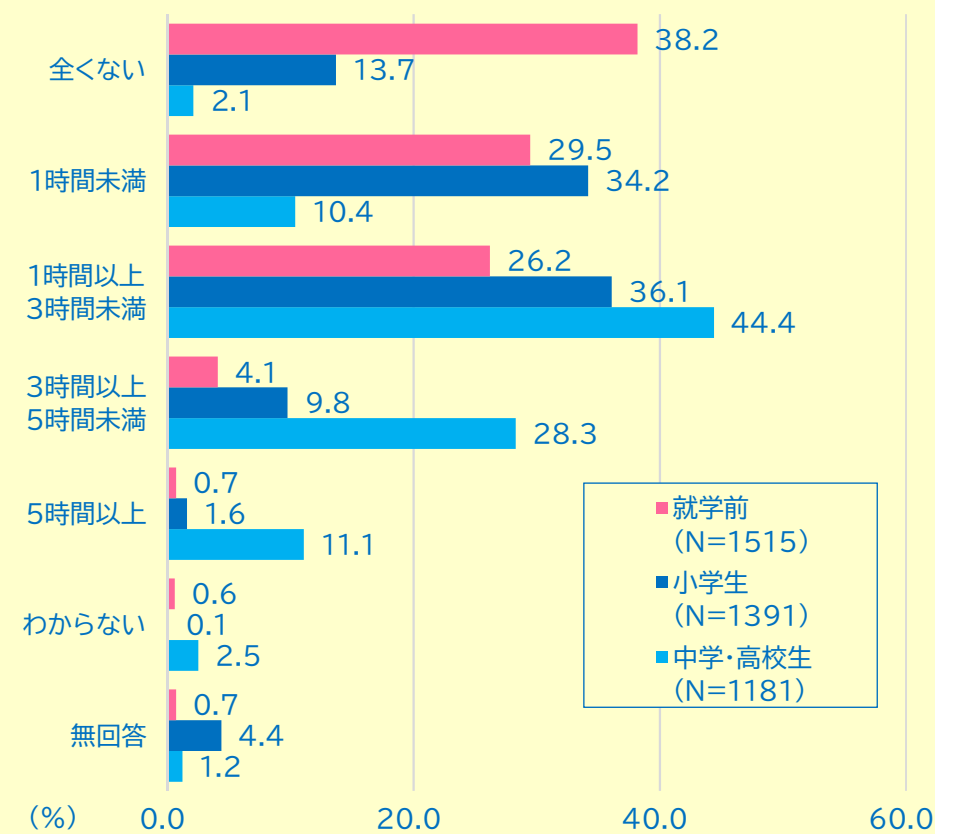
一週間の朝食を食べる頻度 (就学前児童)



こどもが外で遊ぶ時間



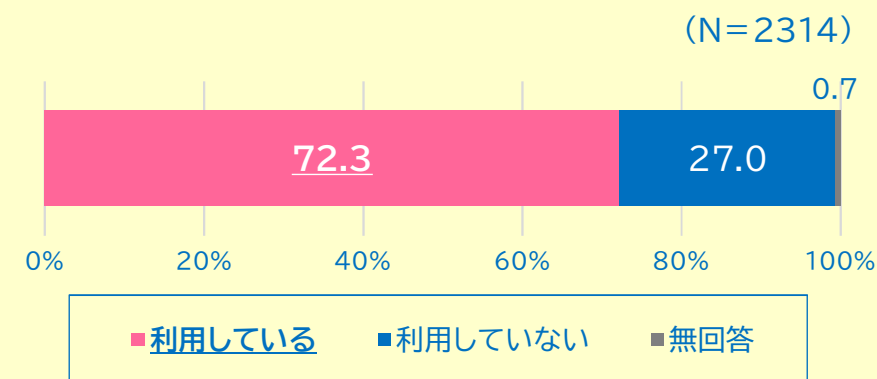
こどもが携帯電話・スマートフォン・タブレット等を一日に使用する時間



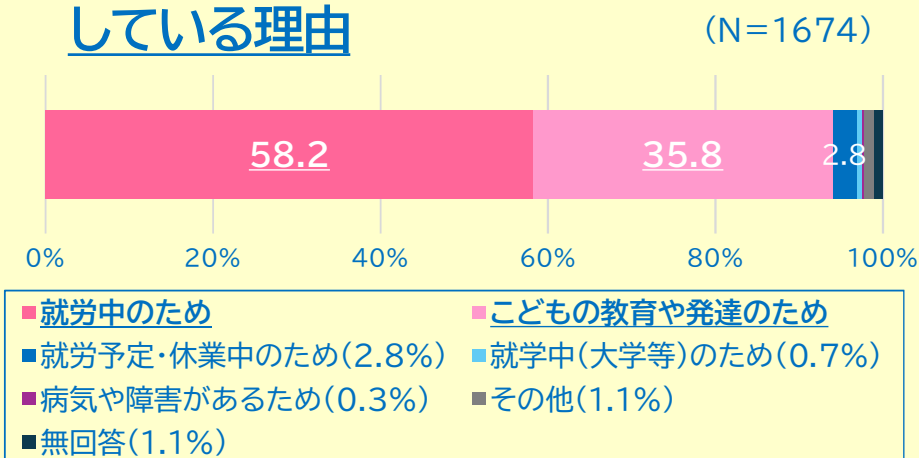
R5年度 子ども・子育て支援に関する市民アンケートの主な結果【回答:就学前児童の保護者】

幼児教育・保育施設や保育事業等の「利用状況」及び「今後の利用意向」

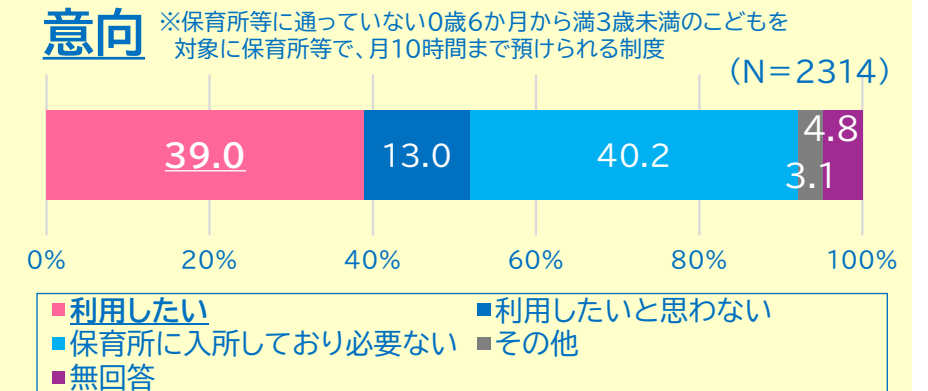
■定期的な幼児教育・保育施設の利用状況



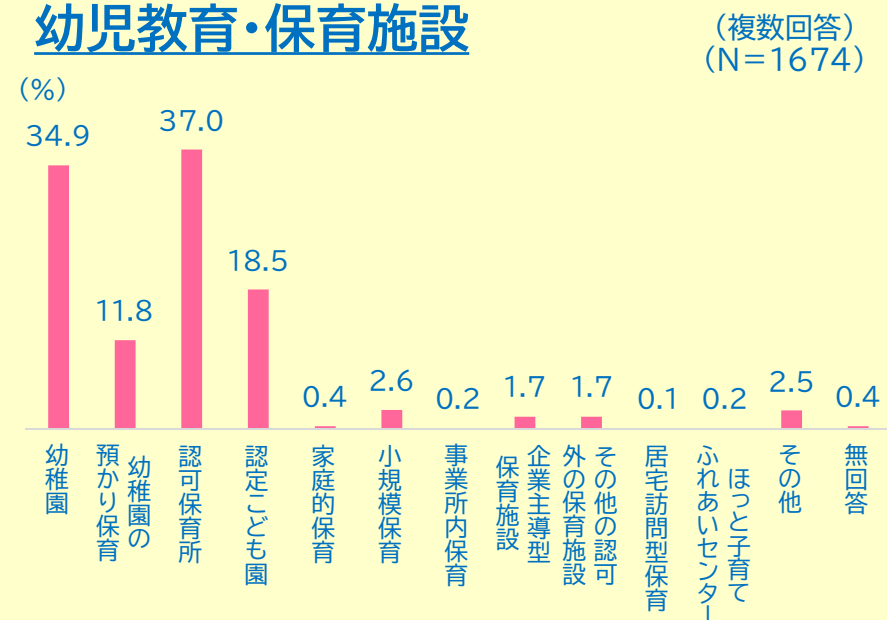
■定期的に幼児教育・保育施設を利用している理由



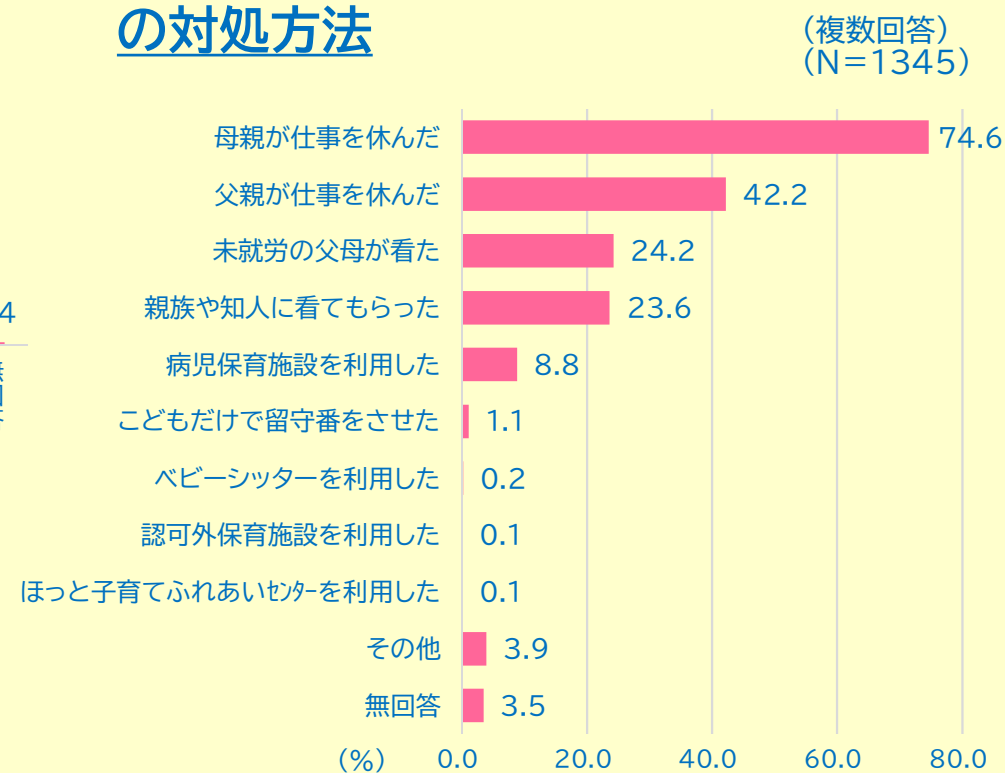
■「(仮称)こども誰でも通園制度」の利用意向



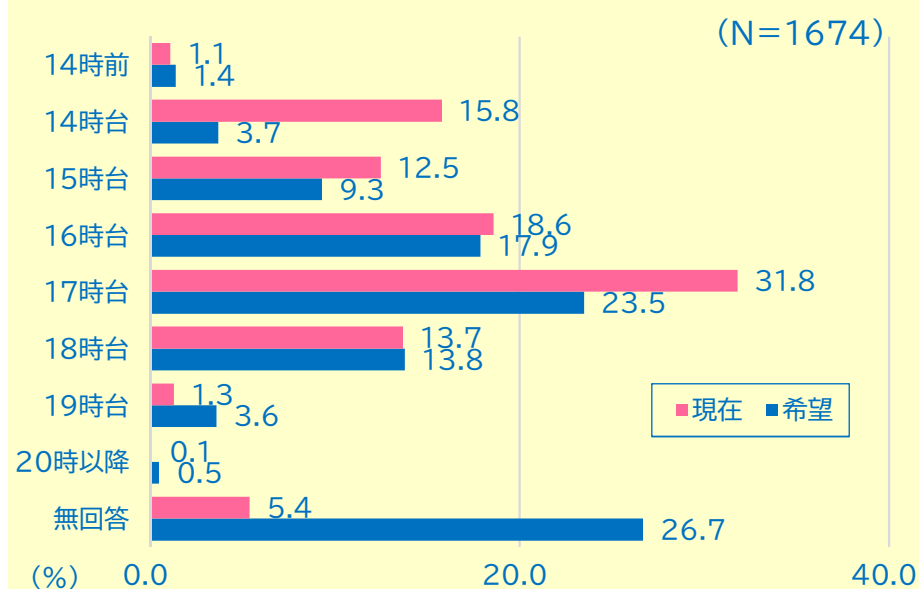
■平日に定期的に利用している幼児教育・保育施設



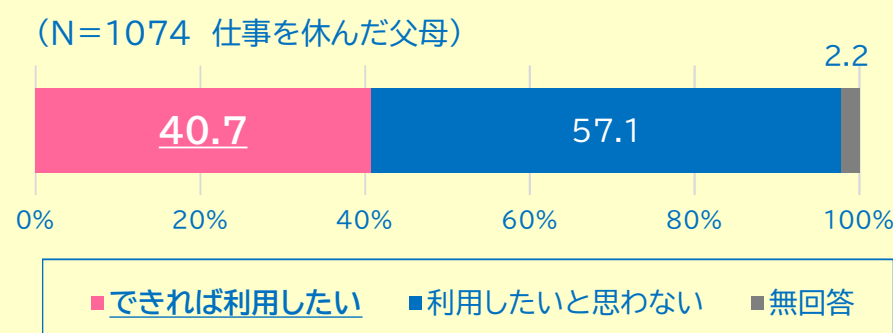
■平日にこどもが病気等になった場合の対処方法



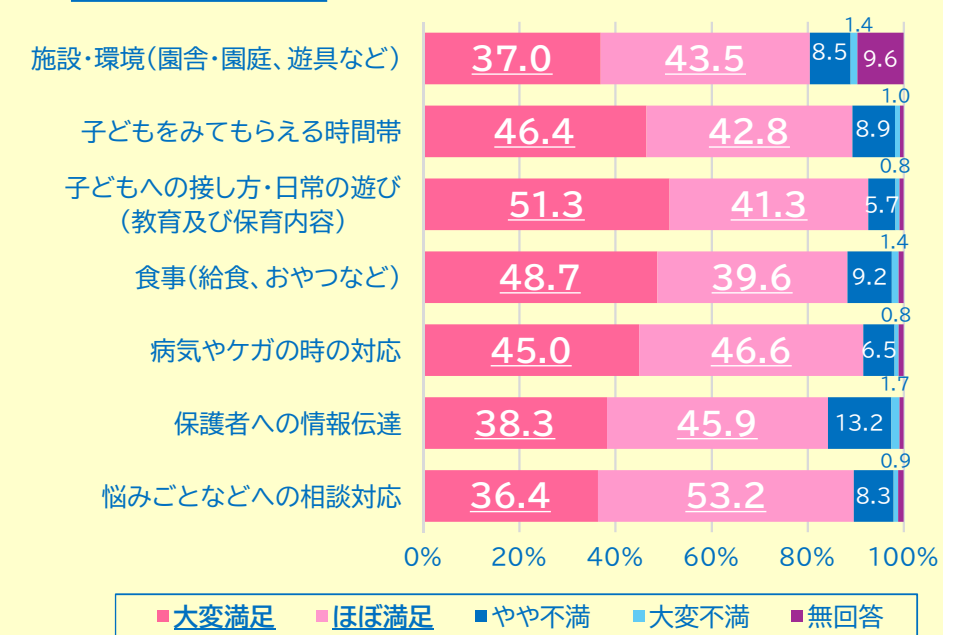
■幼児教育・保育施設の利用終了時間



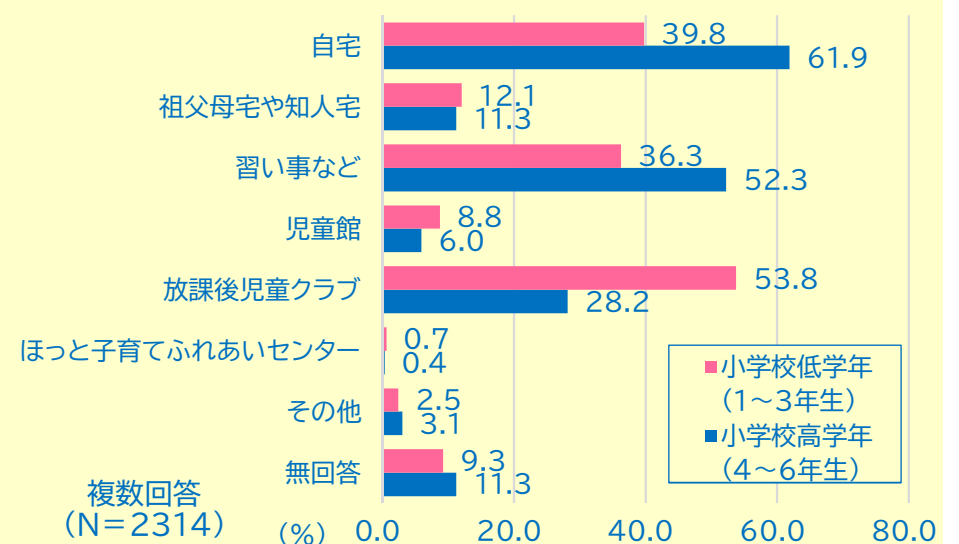
■病児保育施設の利用希望



■定期的に利用している教育・保育施設の「満足度」



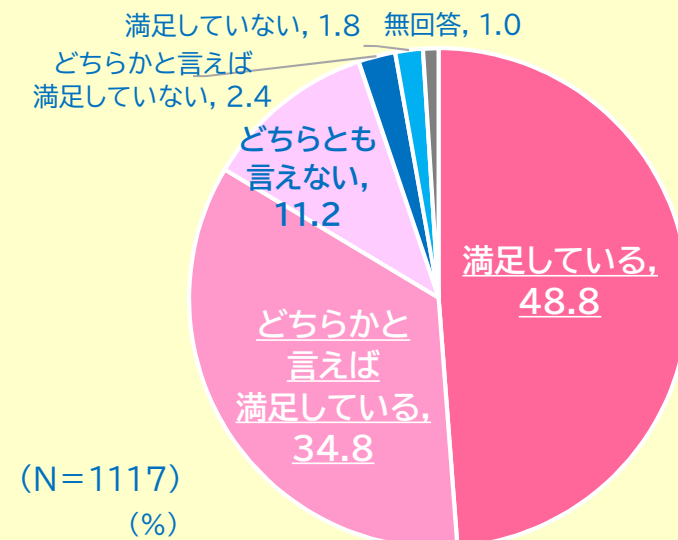
■小学校入学後、放課後に過ごさせたい場所



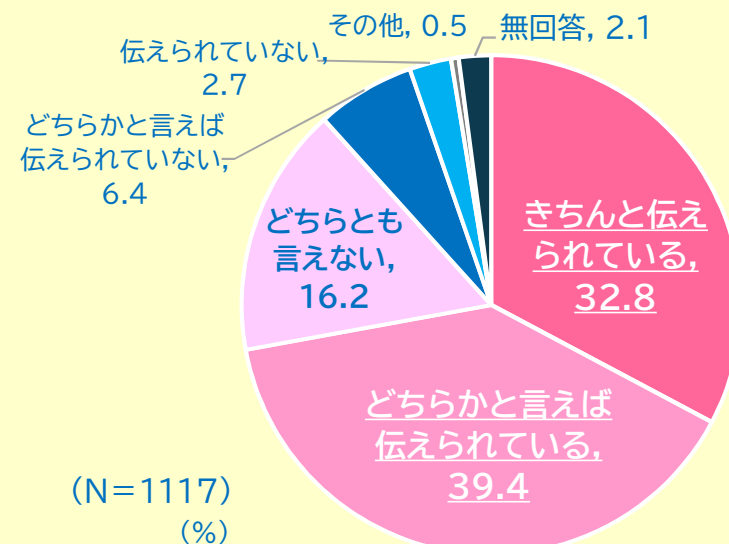
R5年度 子ども・子育て支援に関する市民アンケートの主な結果【回答:本人】

中学・高校生 [中学生:61.4%、高校生:37.7%、それ以外:0.8%]

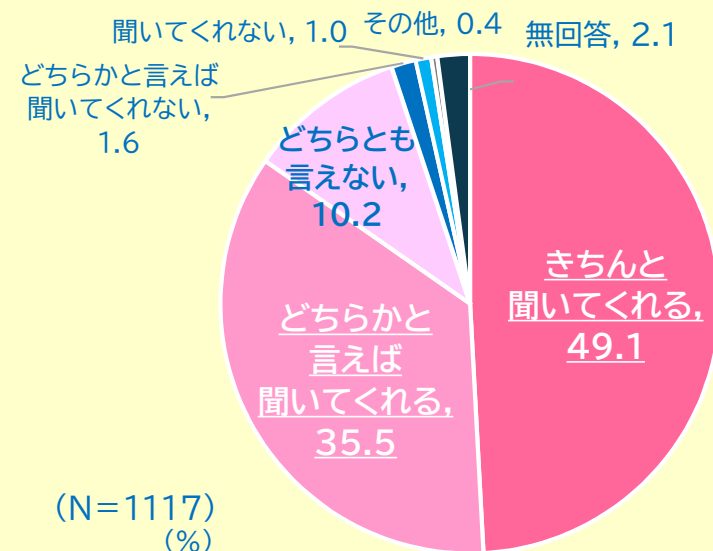
■生活への「満足度」



■自分の周りへの意見表明



■自分の意見に対する大人の聞く態度



■自分が居心地よく安心できる居場所

(上位10位)

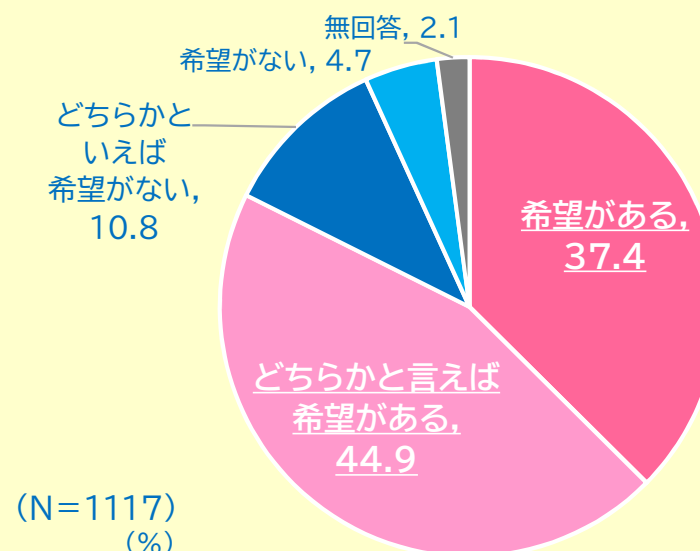
(N=1117)			(複数回答)		
1	自分の家	93.6%	6	ゲームセンターやカラオケ等の施設	12.6%
2	学校	30.9%	7	公園	11.8%
3	親族などの家	28.2%	8	ファミリーレストランやファストフード店等	8.3%
4	学校の部活動等の活動の場所	15.2%	9	学習塾や予備校等	6.2%
5	インターネット・SNS等のオンライン空間	14.2%	10	市民センターや図書館等の公共施設	5.8%

■日頃の悩みや不安、その相談相手 (上位6位)

【悩み・不安】 (N=1117)			(複数回答)		
1	将来や進路	51.3%	4	外見や容姿	11.1%
2	勉強	47.9%	5	性格	10.0%
3	友達や知り合い	11.4%	6	世界で起きている災害や紛争	8.4%

【相談相手】 (N=1117)			(複数回答)		
1	母親	73.6%	4	兄弟・姉妹	25.8%
2	友人	65.1%	5	学校や塾の先生	16.2%
3	父親	37.1%	6	祖父母	10.8%

■自分の将来に対する希望



■自由意見<抜粋>

(記載:410件)

【学校・教育】

- 学校のトイレをきれいにしてほしい
- 校則が時代にあっていないので、見直ししてほしい
- 教育費を無償化し、金銭的なことを考えず、将来の選択肢が広がるようにしてほしい

【居場所】

- キャッチボールができる公園を作してほしい
- 若い世代の交流の場・友人と落ち着いて話ができる共用スペースを作ること
- 不登校の人がもっと勉強できる環境を作してほしい

【スポーツ】

- バスケットのリングやコートを増やしてほしい
- ギラバント北九州に力を入れてほしい
- eスポーツが盛んな町にほしい

【道路・交通】

- 歩道のせまい場所を広くしてほしい
- 自転車用通路を増やしてほしい
- お金があまりない学生でも手軽に使える公共交通機関とその利便性

【環境・雇用】

- OSDGsをしっかりと取り組んでほしい
- 地産地消、地球温暖化防止
- 将来北九州市で働きたいと思っているので、より働きやすい環境を作してほしい

【治安】

- 北九州市の悪いイメージを撤廃してほしい
- 本当は安全な住みやすい街だと僕は思います
- 火事と暴力団の街になっていて悲しい
- いい印象の街になってほしい

【にぎわい】

- 人口増加を頑張ってほしい
- 商店街のシャッターが降りっぱなしを減らす
- 遊園地などの遊べる施設を作してほしい

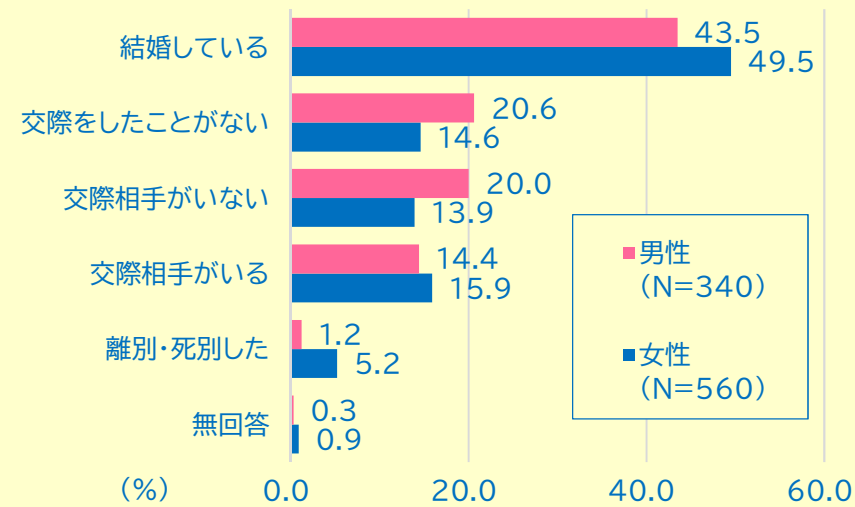
【その他】

- もっと中高生が過ごしやすい町にほしい
- 若者が生きやすい社会を築くこと

R5年度 子ども・子育て支援に関する市民アンケートの主な結果【回答:本人】

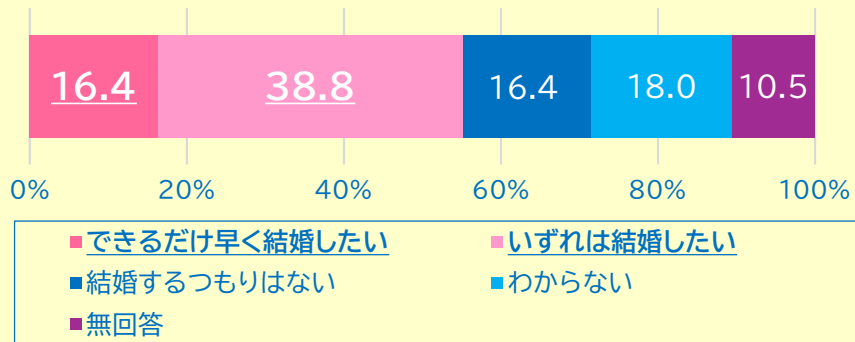
18歳～39歳 [男性:37.2% 女性:61.3%] [10代:8.2% 20代:38.0% 30代:53.0%]

■結婚の状況



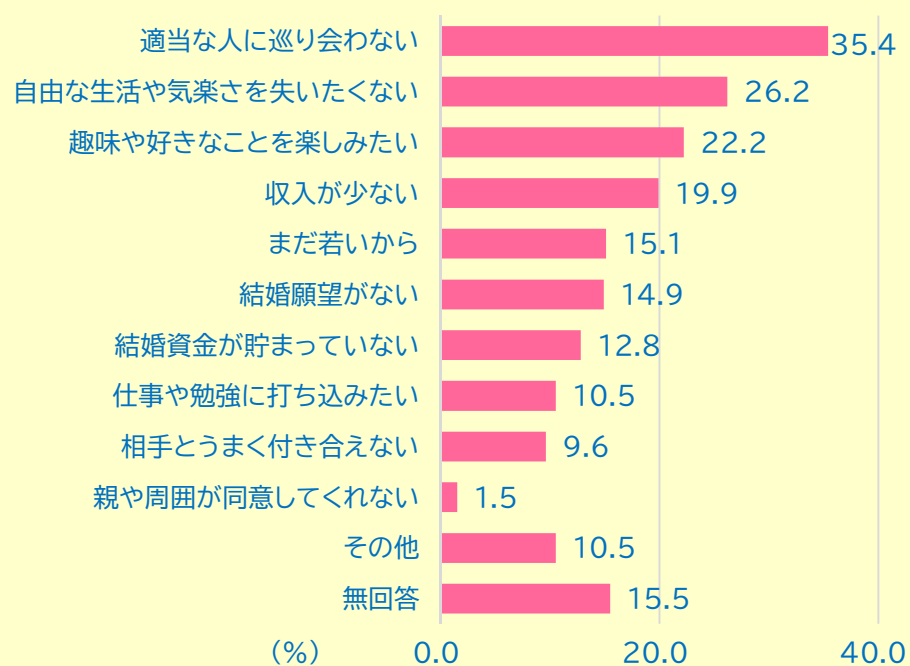
■未婚者の結婚観

(N=477 上記「結婚している」以外の者の男女計)

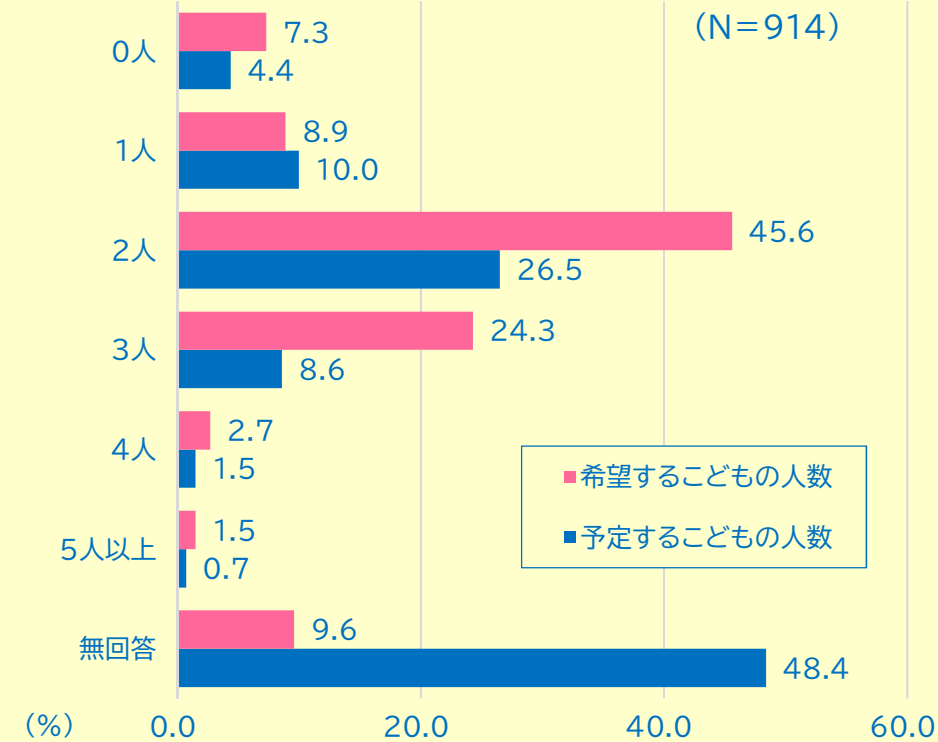


■結婚していない理由

(N=477 上記「結婚している」以外の者の男女計) (複数回答)

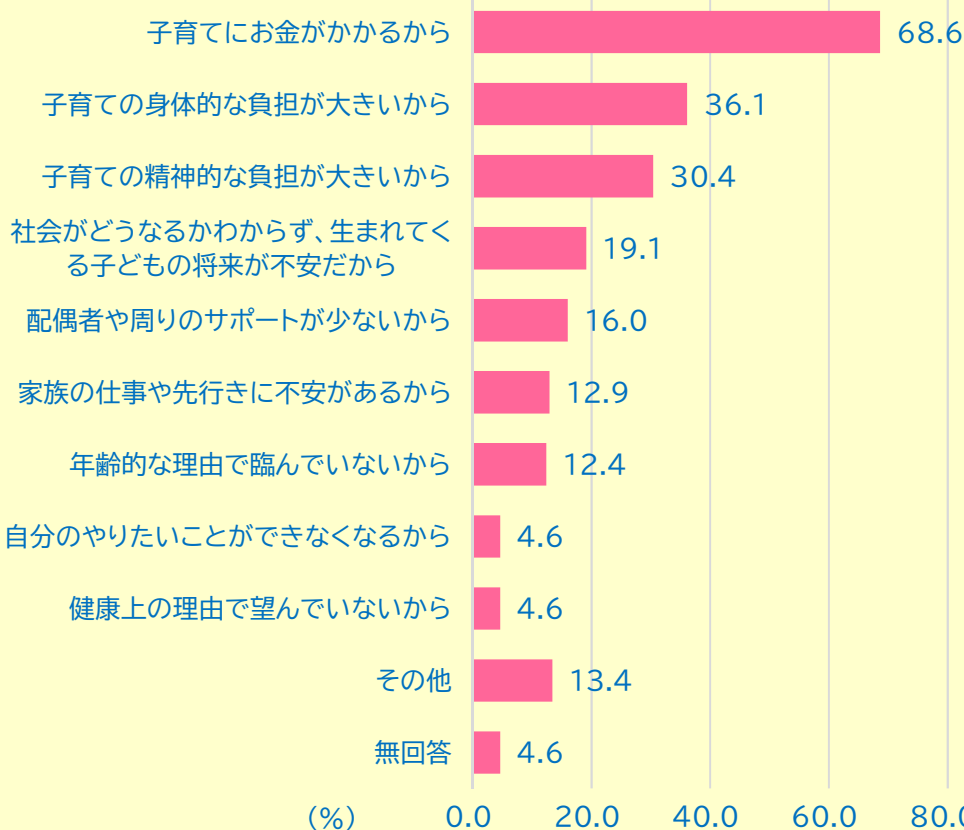


■希望する・予定しているこどもの人数

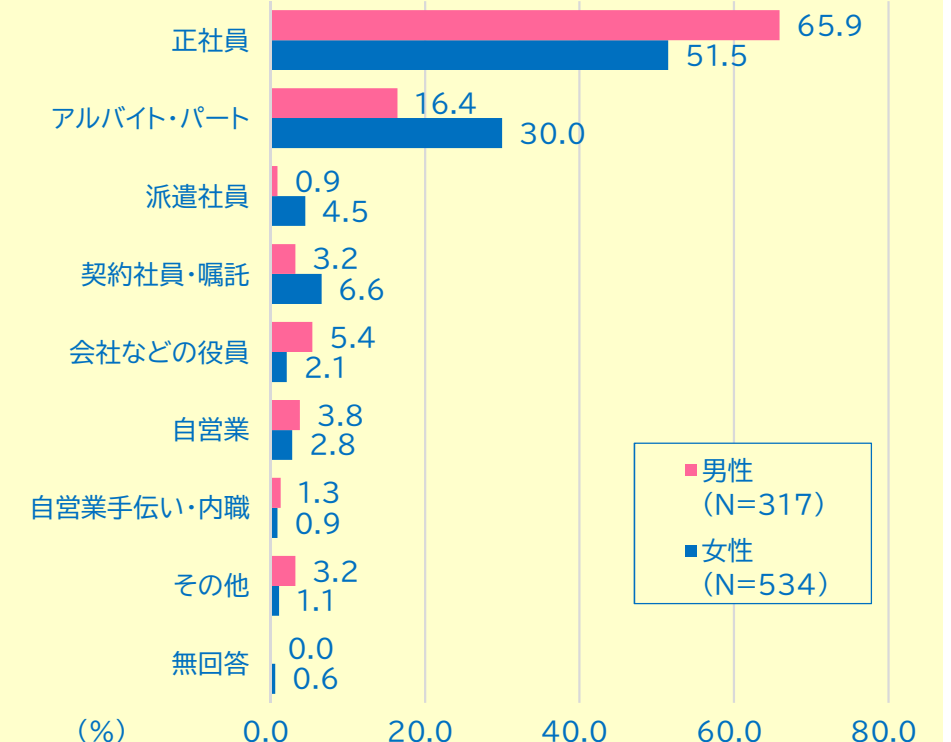


■希望する人数より、予定しているこどもの人数が少ない理由

(N=194 上記で「希望する人数より予定している人数が少ない」と回答した者)

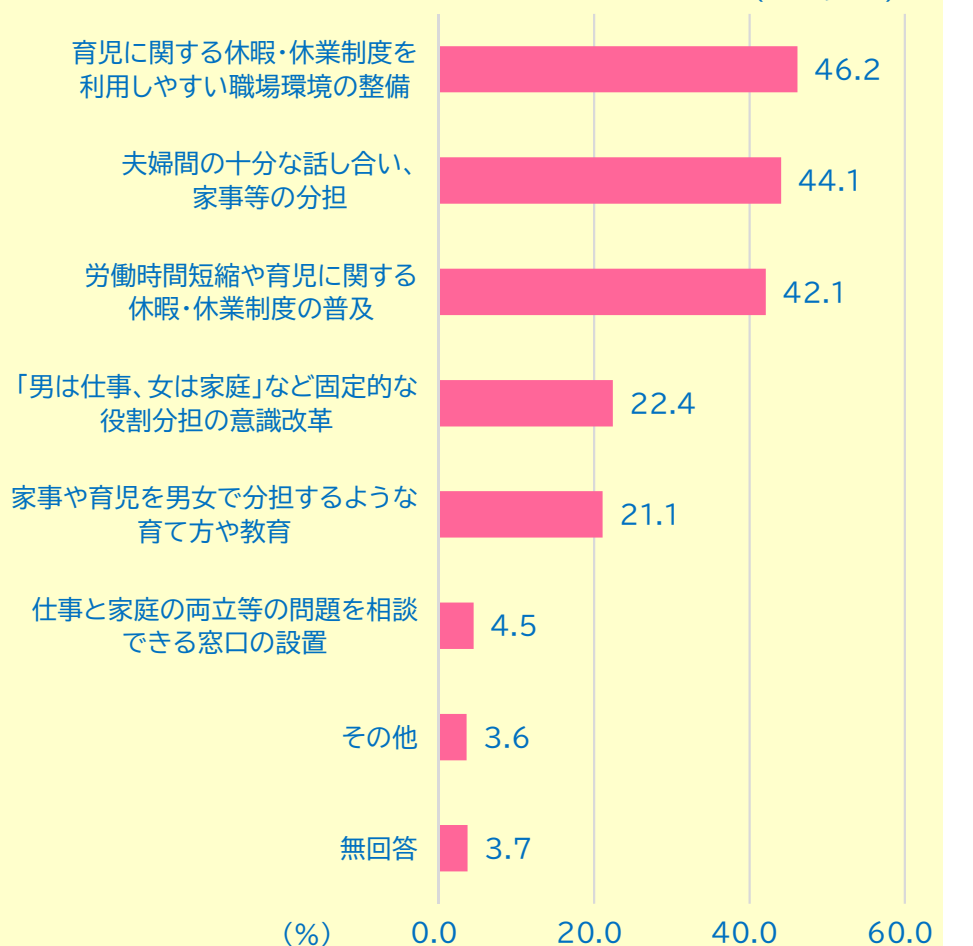


■就労形態



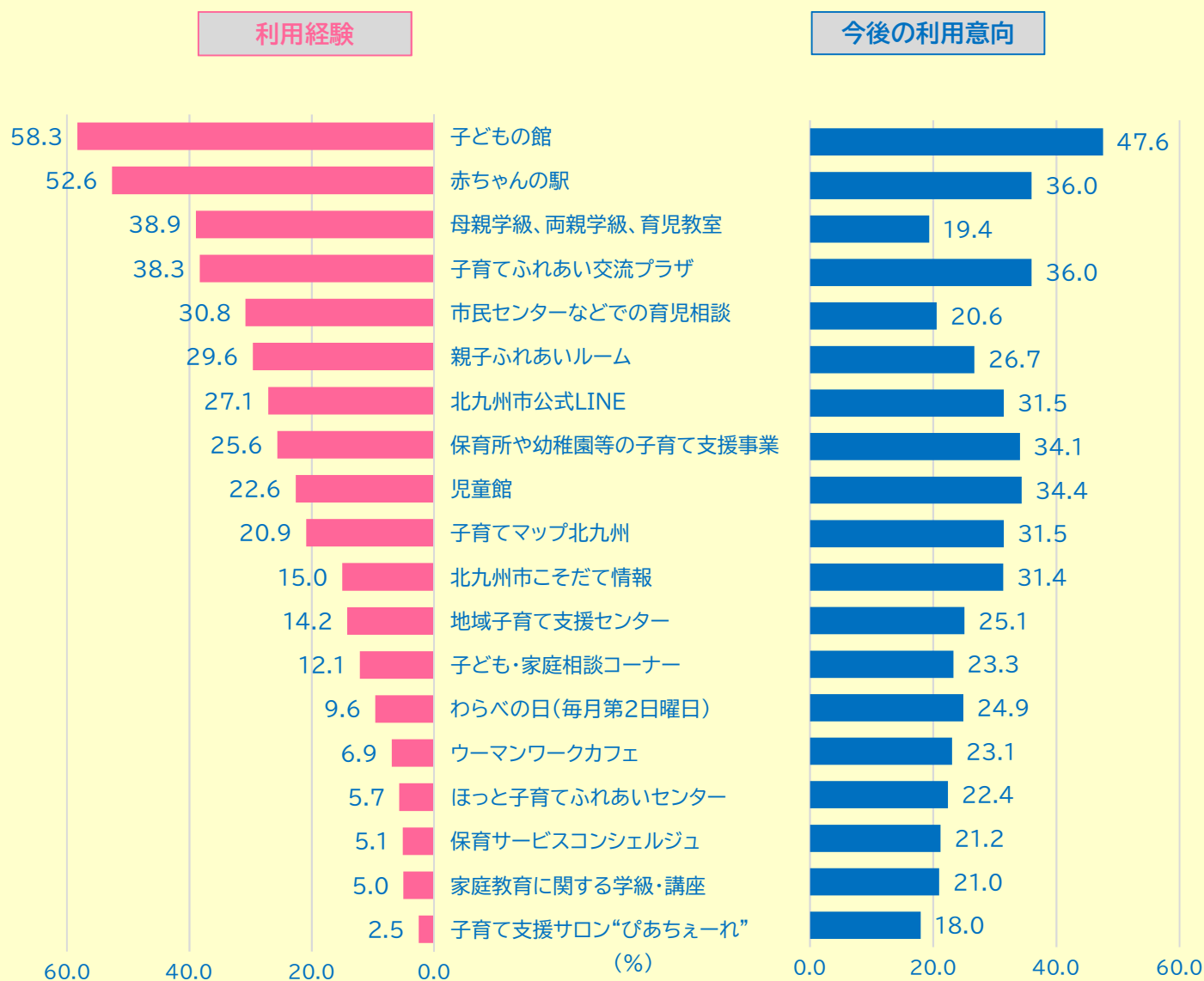
■「共育て」の推進に必要なこと

(複数回答)
(N=914)



R5年度 子ども・子育て支援に関する市民アンケートの主な結果 【回答:就学前児童保護者】

市の子育て支援事業の「利用経験」と「今後の利用意向」



(複数回答)
(N=2314)